

こんにちは

NO.17 2026年8月・9月

名張市議会議員
日本共産党

三原じゅん子です

三原じゅん子

すずらん台西4-202
☎0595-68-3552

三原じゅん子 名張(HP)

E-mail : miharajunko0@gmail.com

生活相談は
いつでもどうぞ



6月議会報告

名張市議会はYouTubeで配信されています

@名張市議会

検索して市議会サイトのYouTubeロゴをクリック

薦生地区伊賀南部浄化センター跡地に

産業廃棄物焼却場はいらない！

現在使われている青山の伊賀南部クリーンセンター（焼却場）は令和16年3月で終了するため、次期の焼却場は伊賀市・名張市・南山城村の広域で検討をしていましたが、名張市は独自に産業廃棄物焼却場誘致を進めています。これは、薦生地区だけの問題ではありません。

三原じゅん子の
質疑の動画はこちらから



名張の3倍のごみが 他地域から集まる!!

事業者が建設しようとしている焼却施設の処理規模は200トン/日。名張市のごみは55トン/日ですから実に3倍ものごみが全国から名張市薦生地域に入ってくることになります。全国の産業廃棄物処理施設周辺で、大気・水の汚染や悪臭など、環境悪化の事象が起きています。

地区に デメリットの説明無し!! バラ色の説明で 進んでいる!!

住民説明会では、環境への影響には触れず、産業廃棄物事業者が用意したパワーポイントや、娯楽施設などの地域振興策ばかりを披露しています。これは住民を欺くものです。

市有地を事業者に提供して
民間の産業廃棄物焼却場建設を進め
そこに名張市の
一般廃棄物処理を委託します



三原の
質問

規模、処理方法、ごみの分別、費用、地域住民の環境への影響はどうなるか？

環境部長の
回答

民間事業者が決まってい
ないので、わからない。

まずは、このような施設をここに作って良いか地元住民の了解を得て、事業者を募り、事業者がどのような施設にするかを決め、事業者で環境調査等を行う。

産業廃棄物焼却場 誘致のスケジュール

7月
・
8月

薦原地区住民説明会
地区区長と名張市で合意
協定を取り付ける。

10月

企業誘致に向け、事業者
公募を行い、事業者選定・
協定の締結。

令和9年
3月

年度内に事業者と協議を
終え、事業を進める。事業
決定・事業計画策
定後、民間による
環境調査を行う。

なぜ？拙速なスケジュールです！



事業者への聞き取り調査から、採算が取れる規模は明らかになっています。
市内のごみだけでなく、全国からのごみが集まってくることは確かです。

近くに薦原小学校・保育所、市民センターがあります。また、薦生地域は、縄文から中世の遺跡「薦生遺跡」の発掘や、ギフチョウの生息が見られ、地区内にある薦原小学校は、2024年には国連教育科学文化機関が認証する「ユネスコスクール」として、児童が田植え体験をするなど環境問題を学んでいます。そのような豊かな自然と農地、歴史が生きる地域に、産業廃棄物焼却場を誘致することを止めましょう。



関係地域の共産党議員団で
名張市に申し入れ

新しいごみ焼却場は、計画通り
一般廃棄物焼却場を広域で検
討することです。候補地はそれ
ぞれの自治体(2市1村)で上
がっていますので、薦生一択で
はありません。

併せてごみの減量も進めて、安
全で小さな焼却場の建設を提
案します。

掛川市・菊川市 衛生組合を視察



産業廃棄物焼却施設の誘致を進めていましたが、市民の「産業廃棄物受け入れ反対」の意思表示があり、産廃誘致を止めて2市の一般廃棄物処理場の建設を決めました。さらなるごみの減量を進め、環境負荷を抑えるごみ処理に取り組んでいます。

安心で 美味しい

公設の学校給食を 早急に確実に実現せよ!



中学校給食が
無いなんてありえない

名張市はどれだけ
子どものことを
後回しにするのか

子どもを
大切にしない市に
未来が見えない



小学校の自校給食まで センター化する計画!?

中学校給食は2027年から実施予定でしたが、市長が無期延期を表明しました。市民の声に押されて改めて表明したのが、小学校の自校給食も全て集約し3,000食の給食センターにするとということです。小学校の手作りの学校給食を残すとしていたのに、守られませんでした。



PFI手法による
センター給食
民間事業者が施設の設計・建設を行い、
その後には所有権は市に移るが、維持管
理・運営は民間事業者が行う。

名張市が決定したPFI方式の センター給食は民間まかせ方式!

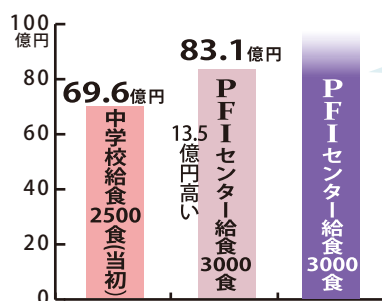
給食の開始は2029年9月と3年も先です。PFI事業としているため事業スケジュールに時間がかかり、それも応募事業者が居なければ実現できません。大阪府枚方市では、6,000食のPFI給食センターが2度の入札不調で**応札事業者が無く、給食センター建設が止まっています。**

早急の実現と共に 給食費は無償化で!!

全国では小学校のみならず、中学校においても給食費の無償化に進もうとしています。

机上での費用削減を優先した ずさんな事業計画

給食施設16年間の建設費と維持運営費



事業者を公募する際に改めて再試算を行うため、世界情勢や物価・人件費・金利の著しい上昇により、事業費を上方修正することが予想される。

名張市で実施可能と比較検討してきた自校方式(給食センターより建設費が安い)については全く再検討していない。

この人口減少の時代に、こんな大きな予算をかける3,000食の給食センター建設。政策決定とその計画策定があまりにもずさんです。

学校給食は、こどもたちの生涯にわたる健康な食生活を身に着けることに役立ちます。また、一緒に学ぶ友と美味しく、楽しく食事をとることで、豊かな人格形成につながります。

名張のこどもたちの食教育の学校給食を、早急に確実に進めなければなりません。

名張市の最優先課題として、プロジェクトチームを立ち上げてでも取り組むことを求めています。



しんぶん赤旗 日曜版 電子版 START

スマホから、豊富なコンテンツが月990円で読める!

「しんぶん赤旗」お試しキャンペーン
3週間無料でお届けしています

日刊紙 日曜版 日刊電子版

お申込みは右のQRコードか
三原じゅん子にお電話ください

☎0595-68-3552

※留守の場合はメッセージを留守番電話に残してください



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 月 3497円
日曜版 月 990円